

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)内山溶接工業 第二工場 増築工事	
建設地	新潟県新潟市西蒲区上小吉653-1	
用途地域	無指定地域、防火地域指定なし	
建物用途	工場,	
竣工年	2018年5月 予定	
敷地面積	11,418.68 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,648.34 m <sup>2</sup>	
延床面積	4,652.52 m <sup>2</sup>	
階数	地上2階	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2017年7月10日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{59.6}{58.7} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.4		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	4.0
			設備の更新性	Q2.3.3	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.2		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

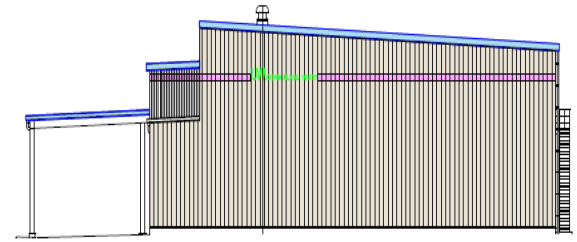
田園地域に立つ工場であり、緑化を行うと共に舗装面積を必要最小限に抑えることで地域環境に配慮した計画とした。また、擬音装置や高効率の機器を採用することで省エネルギー・資源保護に努める計画とした。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)(株)内山溶接工業 第二工場 増築工事	階数	地上2階
建設地	新潟県新潟市西蒲区上小吉653-1	構造	S造
用途地域	無指定地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	4地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年7月10日
敷地面積	11,419 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 加賀田組
建築面積	2,648 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,653 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	104%
③上記+②以外の	104%
④上記+	104%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.3**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.8

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 工場という用途から、機器の入替時に他への影響が小さくなるよう設備の更新性に配慮した計画とした。 また、作業員の方が快適な環境の下で作業ができるよう配慮した。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 外皮に断熱材を充填することで、温熱環境及び外部への遮音性に配慮した。 また、シックハウス棟の原因となる揮発性化合物等の化学汚染物質の発生を低減するよう材料に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 十分な広さ、高さを持つ空間を計画し機器や設備の更新が容易に行なえるよう計画した。 休息室や事務室にゆとりのあるスペースを設けることで、快適に業務が行える環境とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 舗装面積を必要範囲で抑えることで既存緑地を活かす計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の断熱性能の向上を図るとともに、高効率の器具を採用することで省エネルギー配慮する計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源の有効利用のため、節水器具や擬音装置の採用をする計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周囲に田畑が広がる地域のため、光害が起きにくいよう配置・方向に配慮する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される